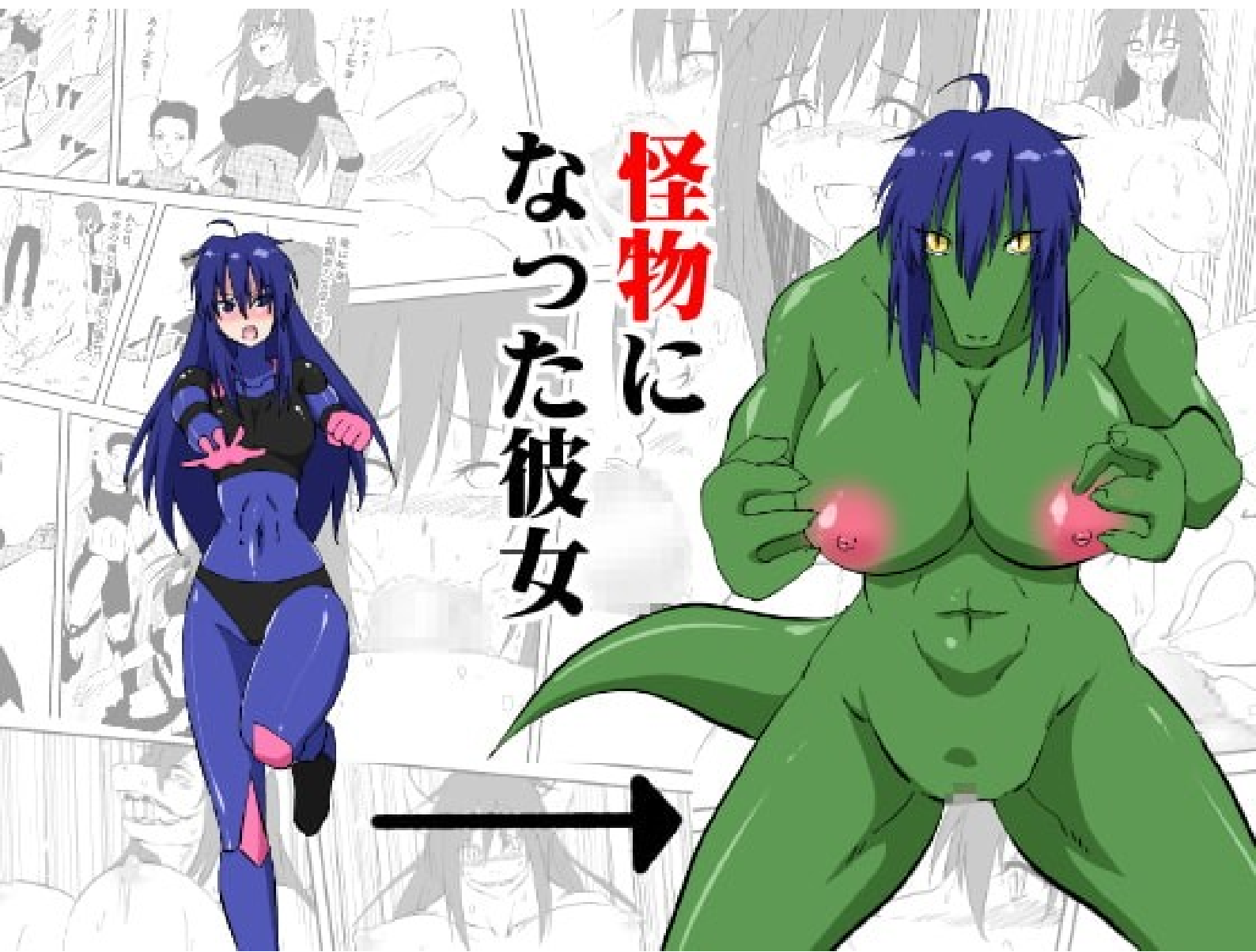
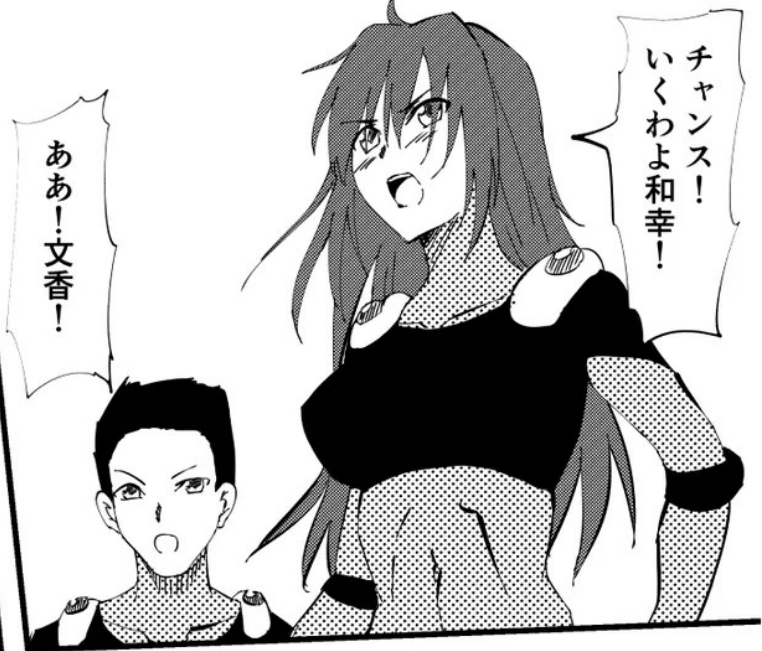


怪物に
なった彼女





はああ!



チャンス!
いくわよ和幸!

ああ!文香!

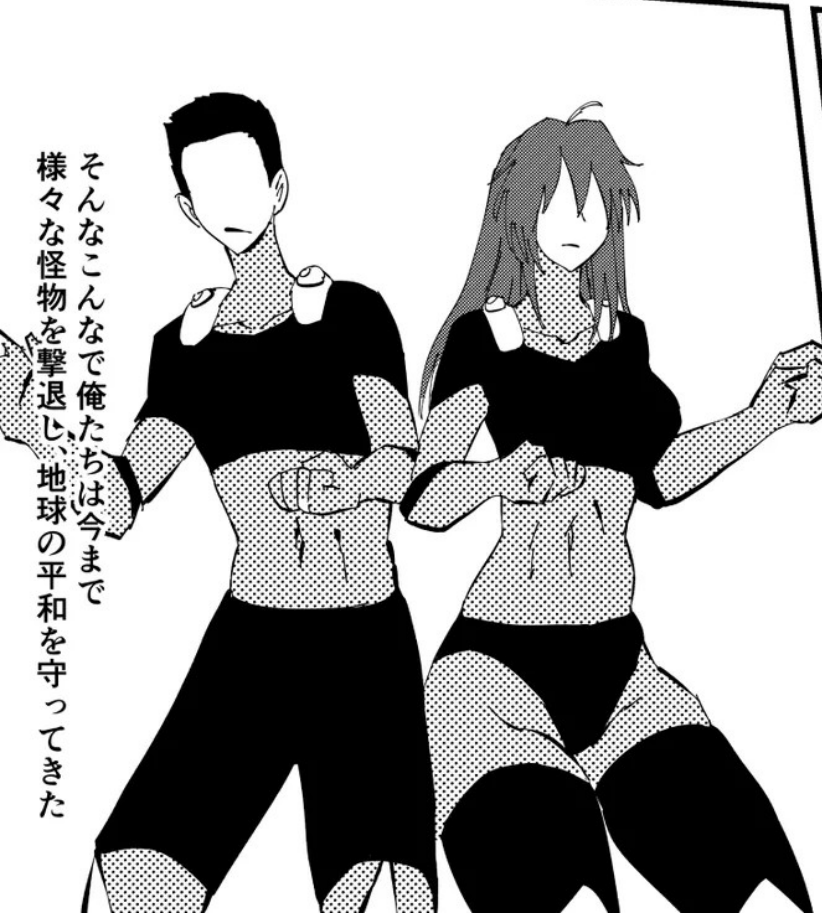


ある日、
学校の帰り道で遭遇した隕石

それは遙か彼方の宇宙より
飛来した
超高度文明の力を持っている
生命体だった



俺は和幸
幼馴染の文香と正義の味方をしている



そんなこんなで俺たちは今まで
様々な怪物を撃退し、地球の平和を守ってきた



その生命体により
今地球は様々な侵略者に狙われていると言われ
生命体に与えられた力で侵略者から地球を守るのだと
重要な役割を押し付けられてしまったのだ



おりゃあああ!



敵は弱っているわよ和幸!

任せろ文香!



グルウウウ!



危ない和幸!



はあ!



大丈夫よ!



ふ、文香!



文香！
傷が…！

ぐっ…！



くそっ！
逃げられる前にとどめを…！

フシユフシユウ！



こんな傷
かすり傷みたいなものよ



まーったく
和幸は心配性なんだから



俺は文香のことが好きだったけど
そんなことはもちろん言えるわけがない



文香は、
俺の大切な友達だからさ…



だめだめ
いくら変身して身体が
頑丈になつてるとはいえ
ちゃんと治さなきゃ！



そうそう

わかったわかった
すっかり治して
またあの怪物を倒しにいかなきゃね



う、うちよっとね...
体調がね...



数日後...

文香、最近あまり学校来てないけど
大丈夫？



大丈夫大丈夫
すぐ治るから



右手の傷大丈夫なの？
医者に行った方が...

バタン



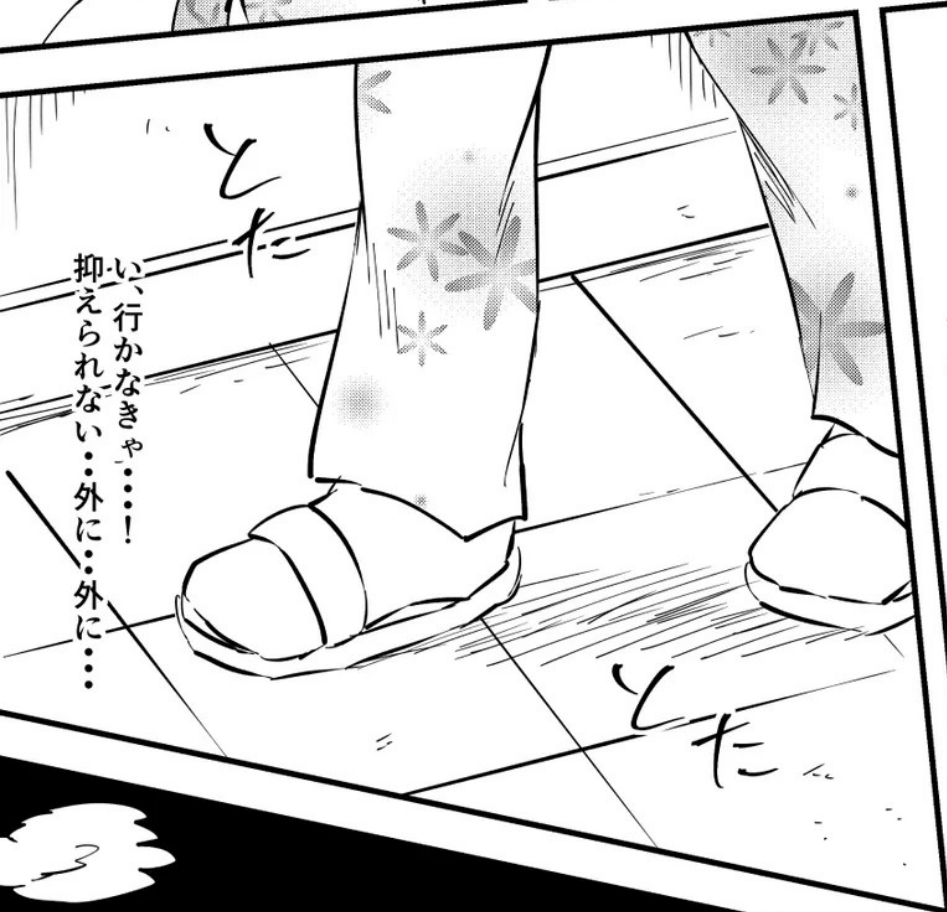
はあ

はあ…はあ…
腕が…

はあ

食べ物も見るだけで吐き気がしそう…
とても食べられる物に見えない…
でも空腹感が凄い…

私は…
どうなっちゃったの…?



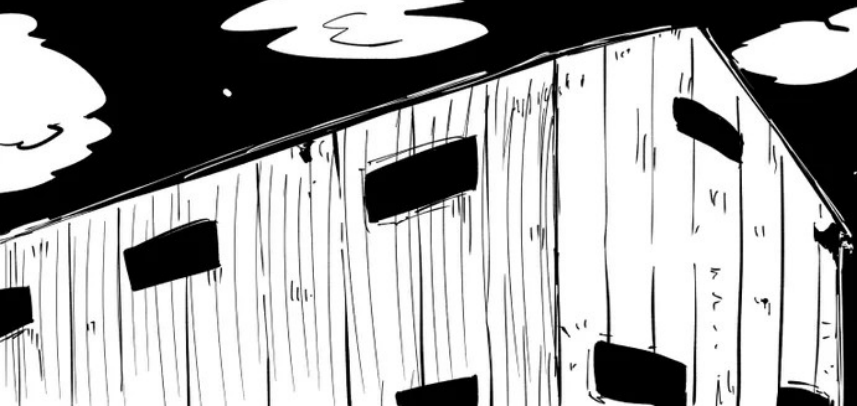
い、行かないや…!!
抑えられない…外に…外に…



身体が疼くみたい…
ああ…なにこれ…
求めている…何かを…

はっ

はっ



ここは…廃工場…?
何かここにいる…
求めている何か…

グルルウ…

ガッ
ッ

き、貴様は…!

グアアアア!

ガ
オオオ
オオオ

くう…!
ち、力が出ない!
殺される…!

優しく舐めている…?
な、なにこれ…?

ム
シ
ム
シ

ム
シ
ム
シ

え?

ム
シ
ム
シ

ピ
チャ
ピ
チャ



駄目・・・耐えられない！

ぐちゅ

んんっ！
むしゃむしゃ

ガツガツッ！

ぐちゅ

はあはあ・・・！
駄目、駄目なのだよ！

ガツ

ガツ

おいしい・・・！
今まで食べたどんなものより！

ああ、肝臓、脾臓、大腸！おいしい！！
目玉！こりこりしてておいしい！
もっと、もっと欲しい！

ぬちゅ

ぐちゅ

ムシャムシャ

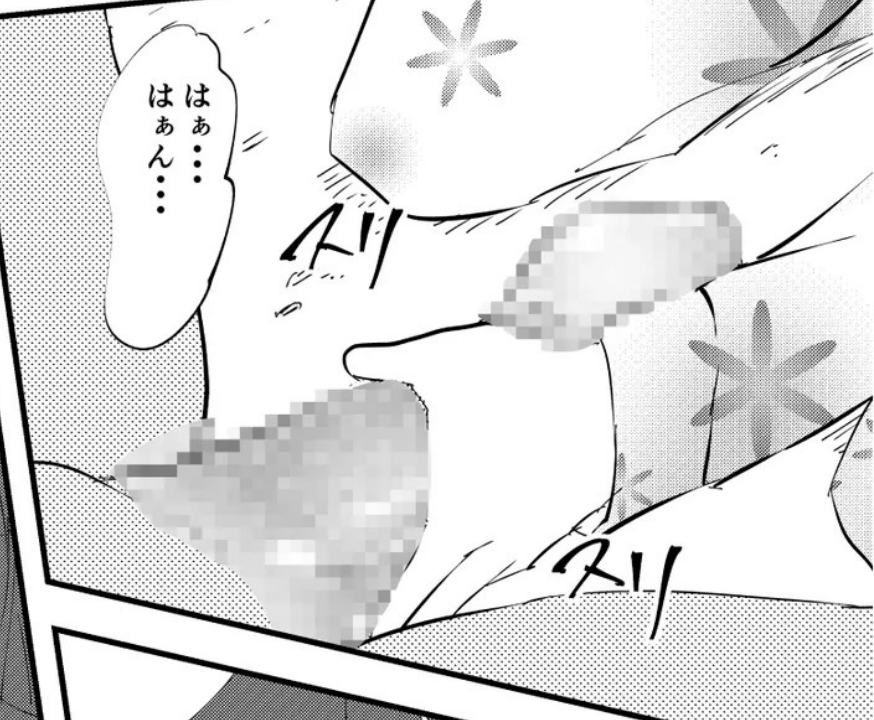
ガツガツ

にちゅ

ぐちゅ

アツ







はむう...

ふぐう

ぐびるる
ぐびるる

ぐび

凄く苦しむの...

ぐび

止まらない...

ぬっぽ

ぐび

このチンポが欲しい...

おびっ...

ふぐむお...

ぐび

ぬっぽ

むふう...!
ふむあ...!

ぐび

あはあ…!

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

気持ちよかったのね…

ぬる

びしょびしょ

ぬる

ふふっ…
こんなにいっぱい出して…

びしょ

びしょ



欲しい…



中に入りたいの？
私も…



あはあん！
ちんぽおっきい！

身体が熱い！
このオスのチンポを求めている



あはあん！
はあん！

もっともっとー！
激しく！奥までー！

あはあ♡

はああん♡

はああん♡

ニヨキ

はああ！
はがあん！♡♡

ぐっがあ…！
がああん！

〃〃〃





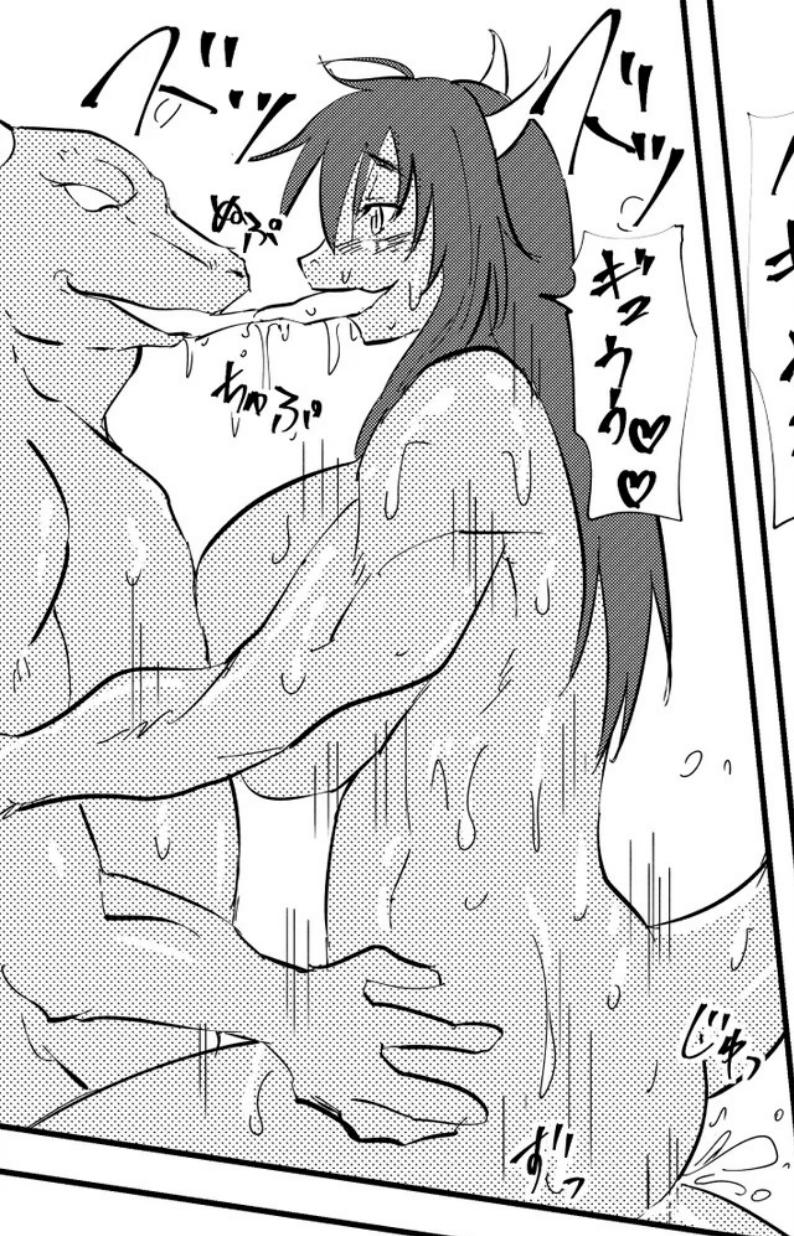
ぎゅあああ!
がああ!



身体が...!
熱い...!



カラダ...!
モットモット!



キツキツ♡♡♡

キツキツ♡

キツキツ♡



キツキツ♡♡♡

キツキツ♡

キツキツ♡



間違いない……
あの時逃がしたやつだ……



文香が失踪して1か月経った
町には行方不明者が増加し、
怪物の目撃談が増えている……



まさか文香が一人で討伐に行って
やつに……



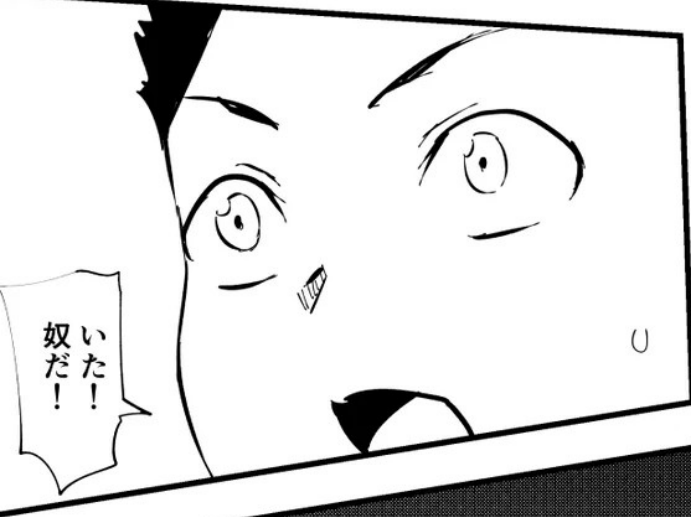
だが、ようやく奴の住処がわかった
町の外れにある廃工場で怪物を見つけたという
少年の話聞くことができたのだ



ここが餌場か...



とにかく俺一人でもあの怪物を止めないと!



いた奴だ!



酷い...これは全て奴の犠牲者なのか...!





うおおお!



そ、そんな……
まさか……



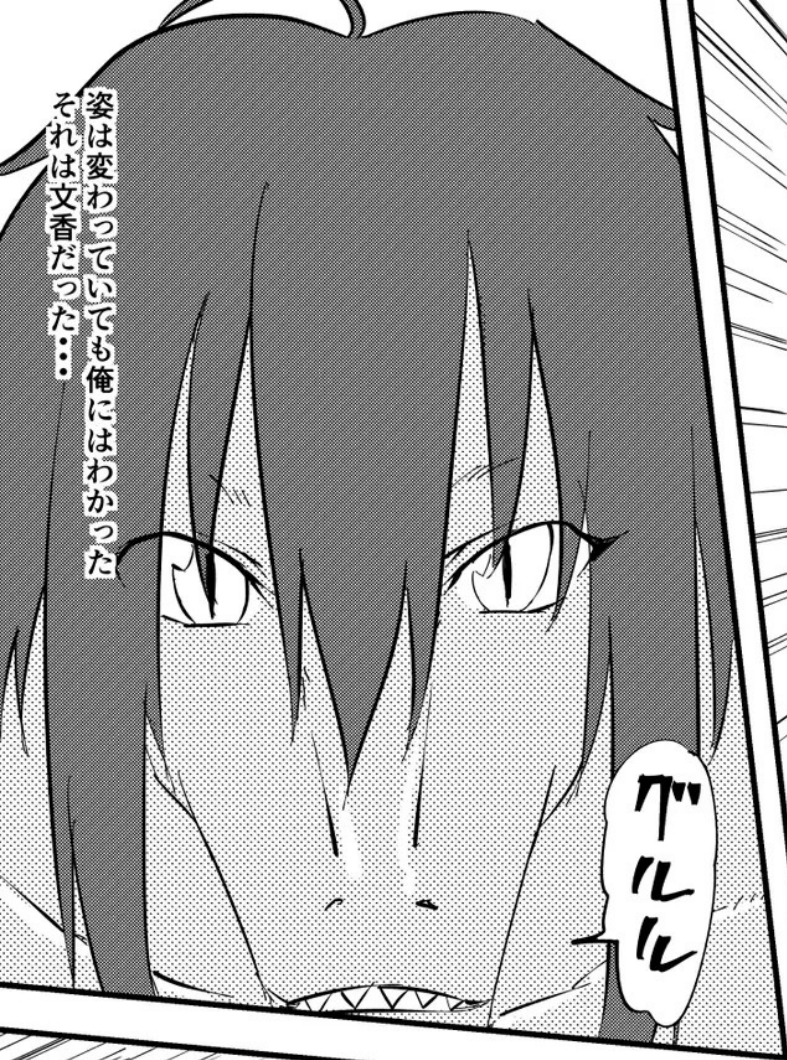
ムルムル



ハッ



ももも「匹」匹びる!?!



姿は変わっていても俺にはわかった
それは文香だった...

ブルル



文香...!?!?

う、うそだろ...
文香...



ウ

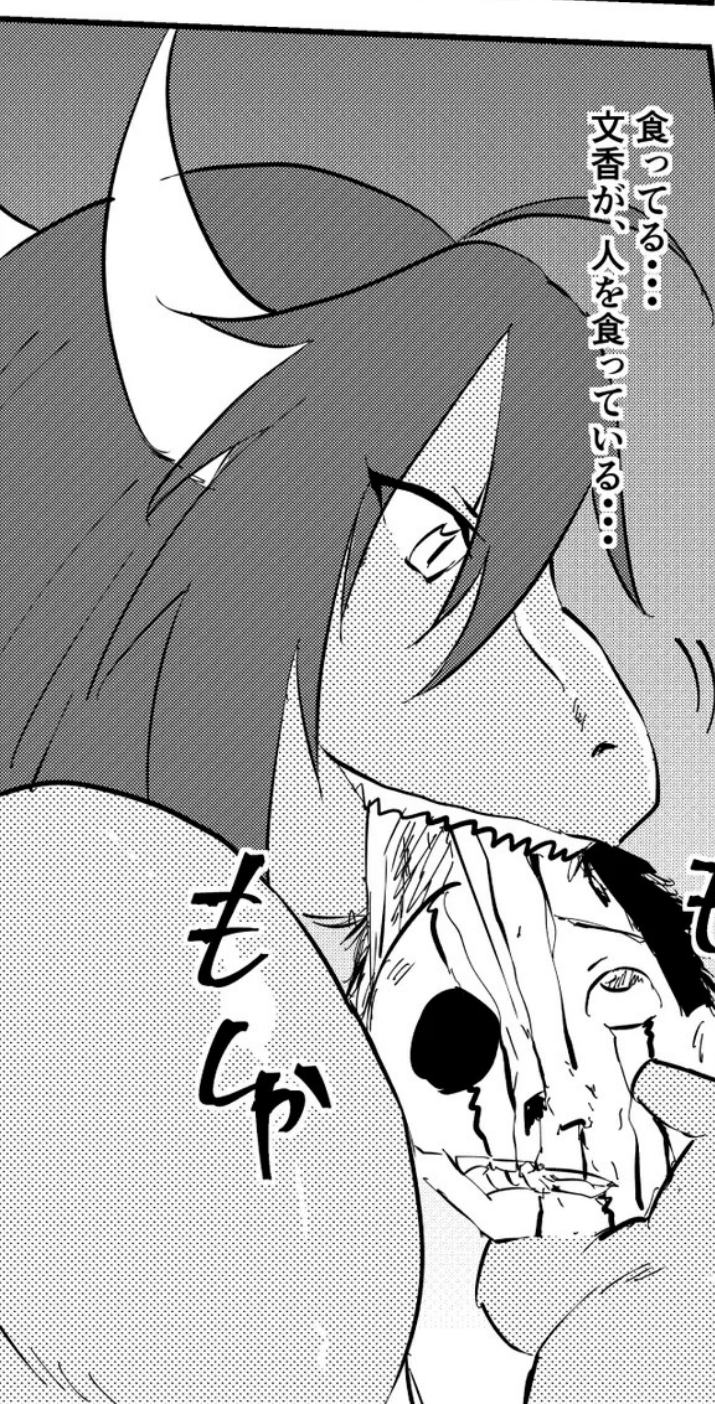
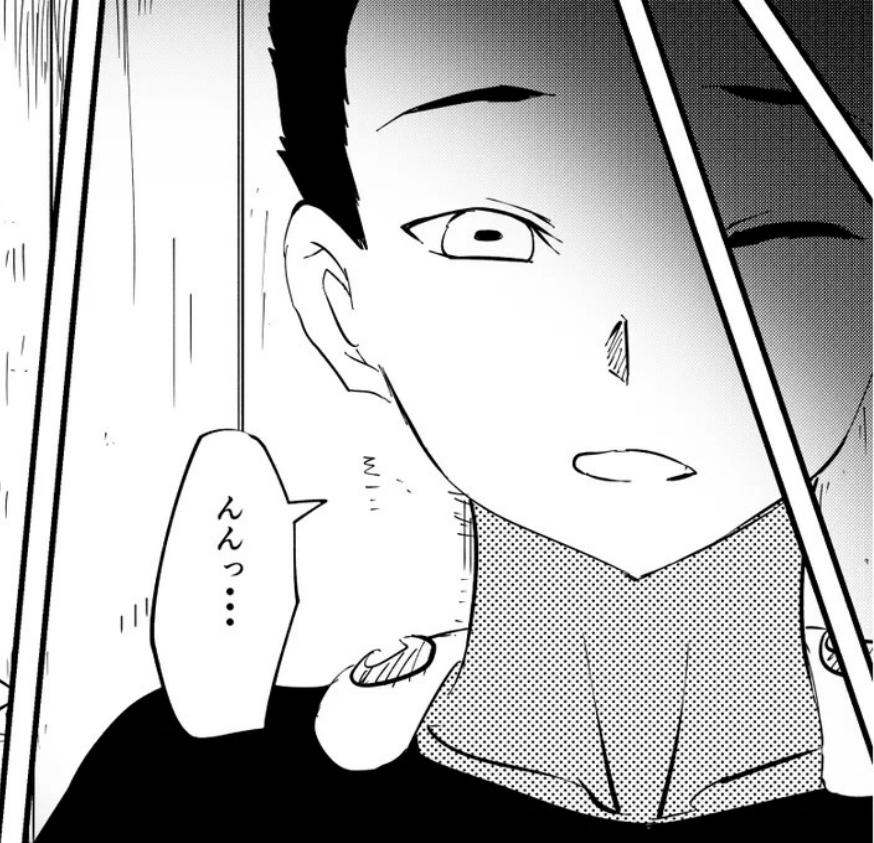
ウ



がはっ...



ウ





怪物の子を...



嘘だろ...こんな...
文香が...犯されている...
自ら喜んで...



ムリ
ゆるゆる

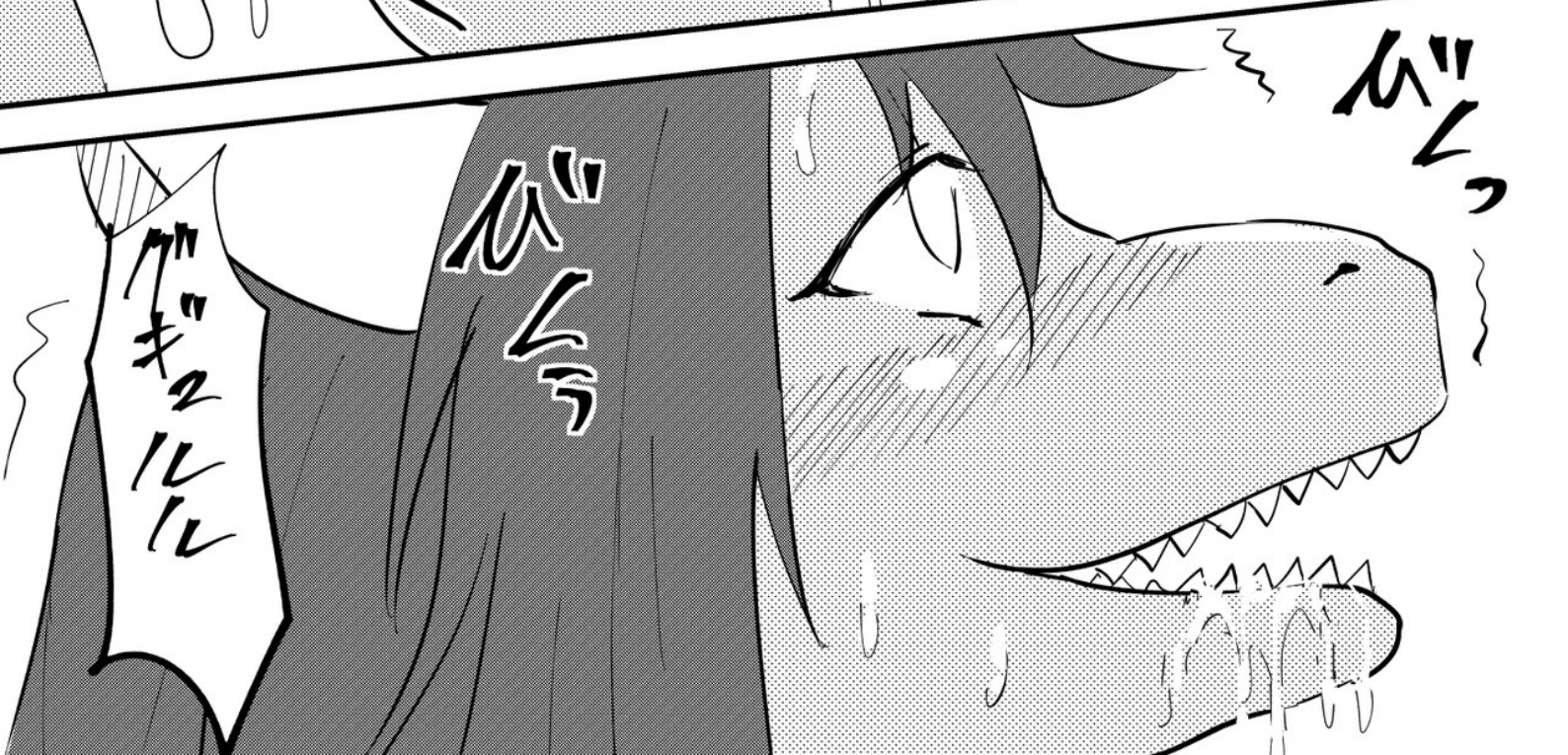
ホッホオオ
ホッホオオ

ムッ

オホッ♡

ズンズン

ムッ



ムッ

ムッ

ムッ



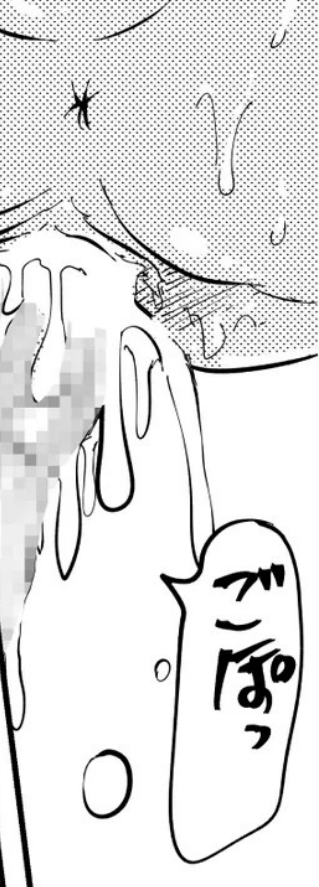
食われる…死ぬのか俺は…
文香に食われて…



セックスして、
次は再び腹ごしらえというわけか…



ガムんん



ガムんん



怒り…



その怒り！そこそがキミに与えた真の力！
キミは怒りの戦士になれる！

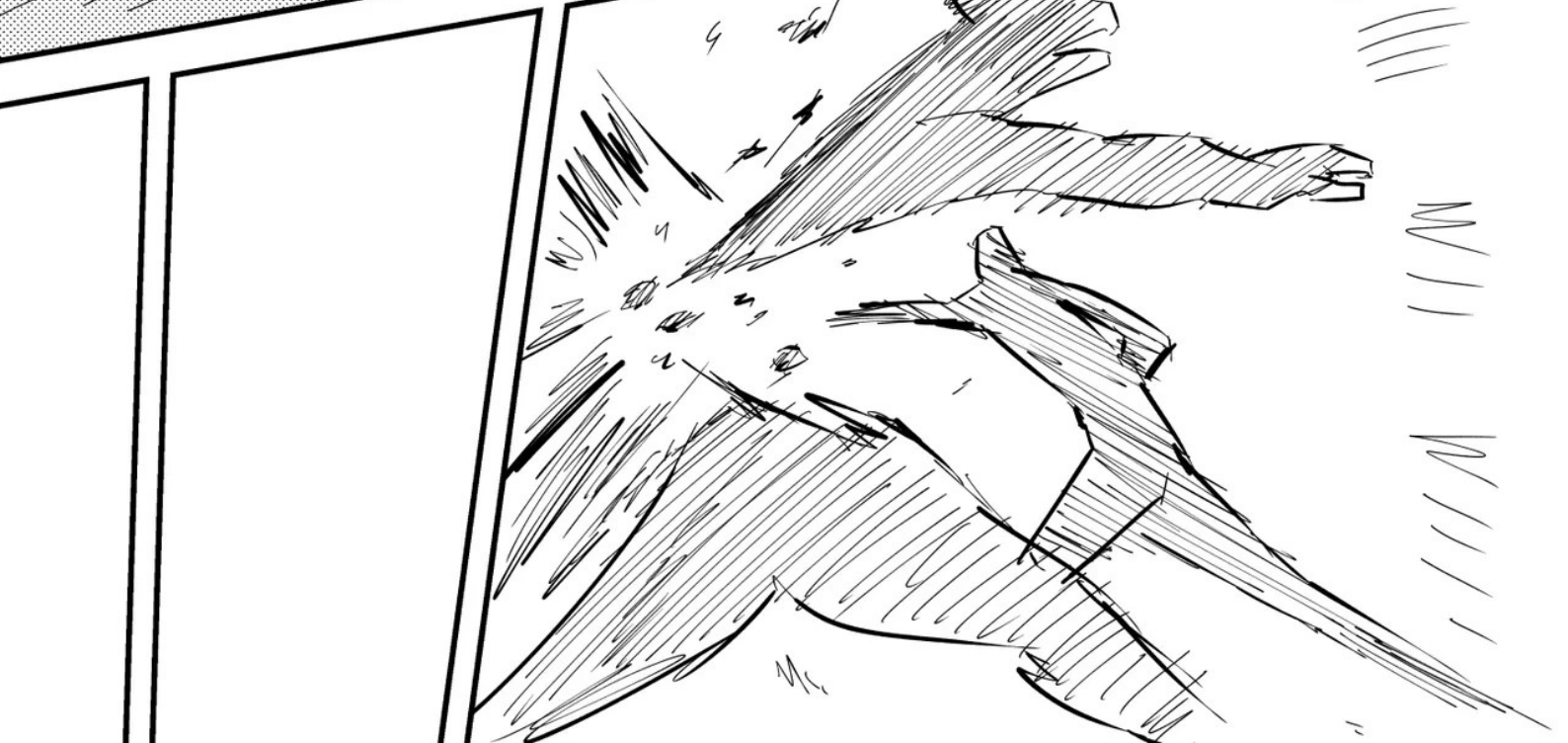
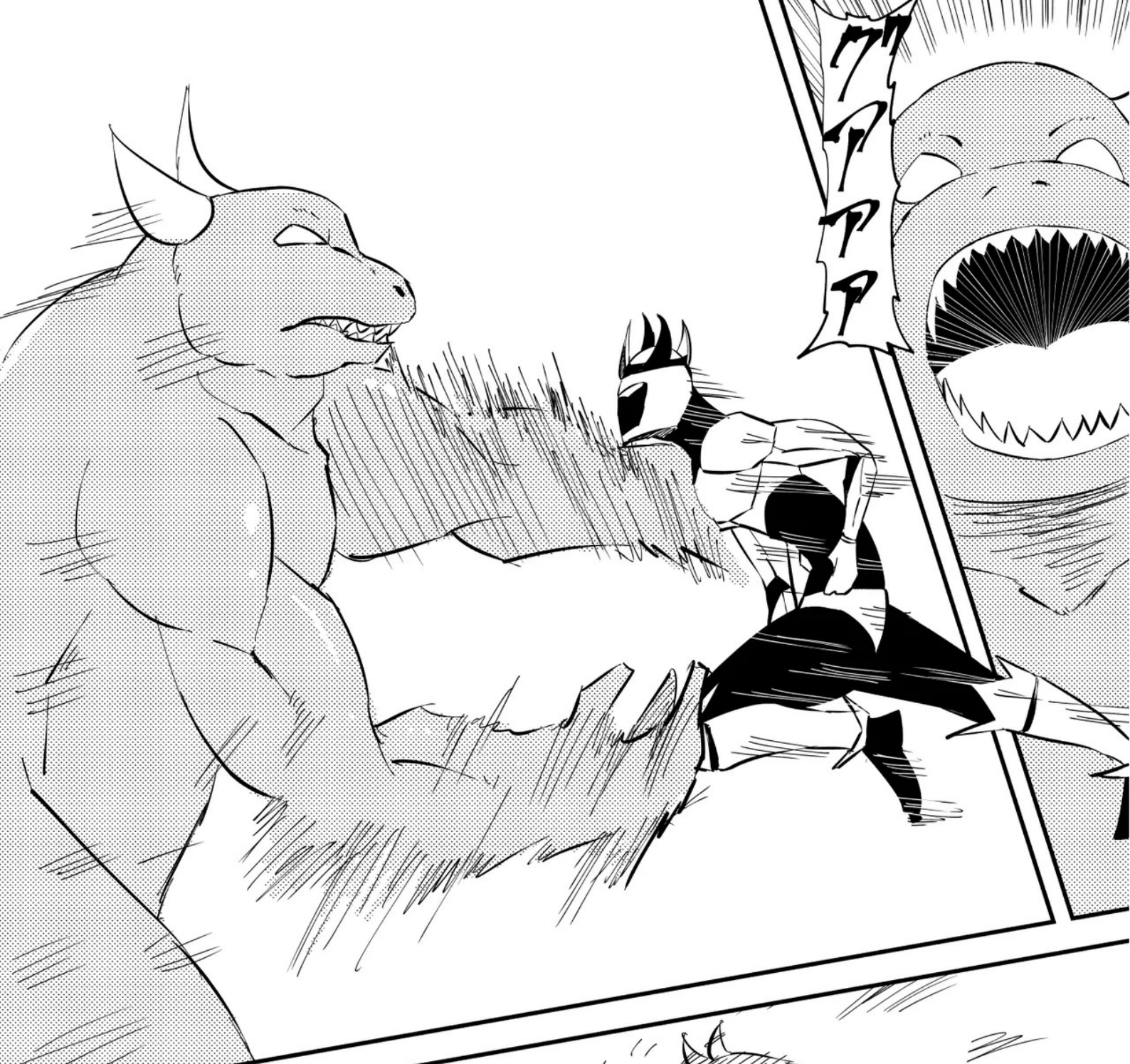


目覚める和幸！
君の真の力を解放するんだ！

憎い…憎い憎い…！
怪物め…！文香を…！俺の大切な…人を！

俺は怒りの戦士！
貴様ら怪物を殺す者だ！

オオオオオオオオ！







初めの頃はツガイを殺し卵を破壊した
俺を憎んでいたようだが
最近では俺に懐くようにもなった



結局、俺は文香を殺せなかった…
彼女を町外れの倉庫の地下に匿い
こうして食事を与え続けている



だから俺は…



文香はオスを求めていた
より強いオスを…より強い子孫を作る本能に従い…

そして…



くっくっくっ！

グッグッ

おまんこ♡

ああ！文香！
文香！



文香のおまんこだ！
おまんこに入れてるぞ文香！
気持ちいいか！いいのか！

おまんこ♡
おまんこ♡

ジュッ

で、でる！

アッ
キョー
ッ

うおおおおお！

アッ
キョー
ッ

出すぞ文香！



彼女をいつか元に戻す方法があるのだろうか……？
いやそんな方法はもうないのかもしれない……

はあ……はあ……

ガッガッ

ギョムギョム

それでも俺は彼女を愛し続ける
俺の大切な人だから……